

発行／広島県印刷工業組合 発行人／中本 俊之
広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954
URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp

印刷文化典 開催まで1ヶ月!



第2回常任・拡大理事会開催

第1回常設委員会開催

青年部 活動だより

広島青年印刷研究会50周年記念式典開催

「ビジネスに生かすMUD」の説明

第17回メディア・ユニバーサルコンペティション募集

福山支部だより

事務局だより ●組合の動き

「安芸の宮島 厳島神社」(全国大会観光案内)

広島県の世界遺産は、「厳島神社」と「原爆ドーム」です。どちらも今更説明は不要かと思いますが、お知らせします。

日本三景のひとつで、推古天皇御即位の593年に御社殿が創建され、その後平清盛公が仁安3(1168)年に御社殿を寝殿造とし、現在の規模に造営。朱色の鳥居と神殿は平安時代以降も各時代の豪族や大名、武将などからも崇拜され続け、現在もなお堂々とした存在感を放っています。

島ですから通常、宮島口からフェリーで渡りますが、広島市内からも船が出ています。最近は観光客も以前のように戻りつつあり、土日、3連休などは駐車場探しの車が多く混雑しています。

島に渡るフェリーから見える鳥居は、昨年12月3年半かかって修理を終えたばかりで、朱色は圧巻です。潮が引くとそばまで寄れますので是非体験してください。

「第2回常任理事会・第2回拡大理事会」開催

常任理事会が6月29日(木)13時00分より印刷会館に於いて、理事長、副理事長及び常任理事11名が出席し開催、その後14時10分より拡大理事会に役員12名が加わり23名で開催された。

初めに中本理事長から「雨が続き天気が変わりやすく暑い日が続いています。先週、地区協があり滝澤会長もラストイヤーになりますが、この任期中コロナで自分の思うようにできなかったと思います。でも、全印工連は止まってはいません。次から次へと仕掛けが出ています。やっと、今年の鳥取での地区協からリアル開催ができるようになりました。やはり、皆さんの顔を拝見してお話ができることはとても良いことだと痛感しております。また、先日青年部から現状を知ってもらいたいと相談がありました。どこの県も同じですが部員が少なくなり活動が思うようにできないと、他県の理事長も同じく今後を心配されていました。これを解決するにはまず若い人たちに入会していただく



ことです。そして、青年部の活動はこんなことをするなどPRすることです。皆さんもご協力をよろしくお願ひします」と挨拶があり議題に入った。

【議 題】

1. 令和5年度上期中国地区印刷協議会報告
2. 2023全日本印刷文化典広島大会について
夢メッセ、文化典広島大会等について
文化典当日の役員配置等の準備について
3. DTP検定のアンケートについて
4. その他
 - ・中央会からの「平成5年度中小企業労働事情実態調査票」の協力について

第1回 常設委員会合同開催 各委員の仲間26名が集まり開催

令和5年度上期中国地区印刷協議会(6月23日松江市開催)を受け、本年度第1回目の各委員会が6月29日(木)午後4時10分から、広島印刷会館会議室において開催された。

この委員会は、所属支部間を越えた組合員同志が、意見を交わし親睦を図り、交友を増やし信頼を増す場であり、この厳しい経済情勢の中どのようにして乗り切るか、また、お互いの業態変革は如何にしているかなど、相互啓発を目的としたもので、まさに組合の原点です。

各委員会の内容等は、前号にて掲載した内容と同じなのでそちらを参考としてください。

経営革新マーケティング委員会



小田 児玉 丸林 瀬尾 石井
高山
喜瀬 細川

環境労務委員会



國保 大倉
堀内 中川 大田

組織共済委員会



田尾 前田 花田 瀬尾(寿)
当田 青木 林

教育研修委員会



宇都宮 吉岡 宮崎 後藤 田頭

【広島県印刷工業組合 青年部 活動だより】

大喜利印刷に参加して 前編

レタープレス株式会社 直前会長 増田達朗 記

全印工連が主催する「大喜利印刷」というイベントに参加しました。大喜利印刷とはTwitter上でつぶやかれた誰かのお困りごとを印刷会社が廃材とアイデアを使って解決するというユニークな企画です。

前々期の全国青年印刷人協議会議長の青木さん（東京ブロック）が立ち上げメンバーで、私は前期（2020～2021年度）の中国ブロック副議長を務めており、その時に青木さんとは知り合いになりました。その縁もあって、昨年の7月頃に青木さんから直接、参加しませんか？と案内をいただいたのですが、通常業務の合間に活動する事に自信がなく、一度は私の判断でお断りしていました。しかし、社内でそのイベントを話題にしてみるとアイデア出しが好きなスタッフ、入社間もない若手スタッフ、またデザインに係わる複数名のスタッフからやってみないと手が挙がりました。

また今回参加する決め手になった理由がもう1つあったのですが、それはアイデア出し、試作品作りの過程で「コネル」という様々な領域で活動するクリエイティブ

チームのサポートが受けられるという特典もありました。思った以上に積極的な社員の姿勢に押され、それじゃあ参加してみるかという事になりました。

2022年11月初旬、東京下北沢でキックオフミーティングが行われ、具体的な活動に入りました。今回参加した会社は弊社含め、3社で各社にコネルのスタッフが1名ずつアイデア出しを伴走してくれました。弊社ははじめ7～8名のチームからスタートしましたが最終的には後から興味を持った人が加わり13名になっていました。

レタープレス(株)の大喜利印刷はどうなっていくのでしょうか。来月号に続きます！



【広島青年印刷研究会 50周年記念式典】

6月10日(土)広島アンデルセンにて広島青年印刷研究会50周年記念式典が開催され、広島県印刷工業組合からは中本理事長、小下青年部会長が来賓として式典に参列。式典では会長挨拶からはじまり、中本理事長より祝辞、出席OB紹介、感謝状贈呈、青木氏よりOB代表挨拶がありました。

最後には、青年印刷研究会メンバー一同が壇上に上がり会長が代表して「創立より50年の活動を紡いでくださった先輩方への感謝の気持ちと当会にかかわり支えてくださった皆さまとのつながりを大切に、今後も活動を続けていきます。メンバーと当会をこれからもどうぞよろしく願いいたします」と締めて式典は終了しました。

その後の懇親会は、全国印刷緑友会の澤田会長より祝辞があり小下青年部会長の乾杯により開宴しました。途中、50年を振り返る動画が流されOBの面々がその当

時を懐かしむ様子が伺え、他にもこの日のために全国から集まった全国印刷緑友会メンバーが壇上に立ち一言祝辞を述べたりと、広島青年印刷研究会の歴史とつながりが感じられる会となっていました。最後に島田直前会長よりお礼の言葉があり、盛会のうちに幕を閉じることとなりました。



載 又 デ 表 カ 印 情 伝
せ マ ザ 現 タ 刷 報 え
て マ ザ 現 タ 刷 報 え
。 マ ザ 現 タ 刷 報 え
に イン ン を す いう

NUMAIN

株式会社 沼田総合印刷

〒731-3271 広島市安佐南区沼田町阿戸657-1
TEL. 082-839-2500 FAX. 082-839-2828
e-mail. mail@numain.co.jp
http://numain.co.jp

おいしいの〜お安芸太田町

安芸太田町 勝手に観光大使 大倉啓司

有限会社 加計印刷

〒731-3501 広島県山県郡安芸太田町加計3444-1

電話 (0826) 22 - 0568

FAX (0826) 22 - 2325

E-mail: kakeinsatsu@blue.ocn.ne.jp

「中国地区印刷協議会において」

「ビジネスに生かす MUD」の説明 ～社会が今、MUD を必要としている～

全日本印刷工業組合連合会会長 滝澤 光正



今期、地区協議会での全印工連からの発信は「ビジネスに生かす MUD」をお伝えさせています。

MUD は、メディアユニバーサルデザインで、全印工連はもう 20 年間事業を行っています。これを「ビジネスに生かす」ということで、儲かりそうな話をしますが、MUD は知っているけど、取り組んでいる方は、少ないという現状です。ということは、今 MUD を積極的にやっている会社は、ライバルが少ない。ライバルが少なければ、そこで当然差別化ができ、価格についても、その分の付加価値を上乗せできるということに繋がるのではないかと思います。その MUD をどうやってお客様に価値を見つけていただくか、どうやってお客さんにファンになっていただくか、ノウハウを蓄えて、お客さんに提供すれば、おのずからそういうチャンスが出てくる。会社の中でこの MUD をどのような武器にして戦えばいいかを、お話ししたいと思います。

全印工連は、当初 CUD、カラーユニバーサルデザインから始まり、視覚障害を持った方、あるいはご高齢の方、そういう方々に配慮した形で始めました。その後、視覚障害の方だけでなく、情報弱者という視点で捉えると、子供とか、外国人、あるいはすべての人に配慮が必要ということで、それも色覚、色だけではない、文字、レイアウト、デザインも、カラーユニバーサルだけではなくて、メディアユニバーサルデザインということで、途中から MUD 事業になりました。MUD のデザインコンペも 10 数年間、毎年行われているというのは、皆さんご承知かと思えます。

情報伝達分野における合理的配慮は、必要・必須で MUD の下に社会環境、法的要請、そして持続可能な社会×SR 調達です。社会環境ということと言いますと、高齢者や障害者雇用がどんどん今広がっています。また法的要請という意味では、障害者差別解消法という法律が施行されています。そして持続可能な社会という意味では、SDGs であるか、CSR の取り組みの加速。安いからではなく、社会にとって有用な取り組みを行う企業からの調達。そういう意味でのソーシャルレスポンスビリティ調達といいますが、SR 調達等も、今広がっています。こうしたことを背景に、MUD が求められているのだということです。

今日の話。

1. 「お客様に伝える必要性の背景」
2. 「MUD をビジネスに活用するヒント」
3. 「MUD 協会の支援メニュー」

まず、「お客様に伝える必要性の背景」は、本音は皆さんがお客様のところへ行って、お話しする営業トークのネタですよということです。2 番目、「活用するヒ

ント」というのは、実際にもう MUD に取り組んでおられる全国の仲間の印刷会社が、こんなものを使って製品を作りましたという事例。そして 3 番目の「協会の支援メニュー」。MUD 協会というのは、全印工連がこの MUD を推進していくに当たって、検定制度とか認証制度というものを発行しております。それは全印工連とは別組織で、NPO 法人を作りました。この MUD 協会が、印刷会社に対する支援メニューを持っていますので、皆さんが MUD を自社のビジネスに取り入れて行こうといった場合に、どういった勉強をすればいいのか、といったところをサポートしています。

まずはお客様に伝える必要性の背景、営業トークのネタですが、社会環境の変化、少子高齢化で、まだまだ社会に出て会社で働いて活躍している。ただ、ご高齢の方が会社の中で、これは我々印刷会社でなくて、お客様の会社の中にも高齢の従業員の方が増えている。そして情報を保証する取り組みは、どの会社でもマストになってきます。日々の仕事のやり取りの中で、情報が伝わらない、あるいは用語が伝わらないようなことに対して、その課題解決が必要であります。高齢者の皆さんに伝える工夫をしないと、そもそもその会社が行うサービスがサービスではなくなってしまう。例えば社内文書などでも MUD に対する配慮が今後ますます必要になってくるということです。

そして、外国人労働者が多くなり、職場における多様性とコミュニケーションも多言語が求められていますし、情報伝達のスタイルがそれぞれ違うということです。例えばコンビニエンスストアとかファミリーレストランなどへ行くと、外国人労働者の方が沢山おられます。そのようなお客さんを持っている印刷会社は、やはりそういうところにも配慮した印刷物の提案というのが当然求められるということに繋がってくると思います。また、この方々の家族も含めると、今 270 万人の外国人の方が日本に在住している。当然、お子さんたちは地元の小学校に通います。情報を伝えるということは、今までも単一的なことではもう間に合わなくなっている、という状況です。これコロナが明ければ、より一層この外国人労働者というのは今後増えてくるということが予想されるわけです。

そして、発達障害児の増加です。いわゆる発達特性、あるいは発達障害を持った子供たちが、小中学校では学級に入って 8.8% 存在している。つまり 11 人に 1 人程度存在しているということが明らかになっています。特に学習障害とか、注意欠陥、こういった子供たちが増えているということです。彼らにしっかりと教育の機会を確保することが重要になります。例えば学習塾とか、学習教材等を扱っている教育関係の会社とか、あるいは玩具・お菓子とか、様々なお得意様もいると

思います。お客様にとって、子供たちにお客さんの伝えたい情報をしっかり伝えるというのはとても大切なことであって、ここにもMUDが活躍するという場面が当然あるということです。

皆さん、海外、外国に行った時に、何の情報もなく、公共交通機関に乗れますか。訪日観光客も増えているというお話ししましたが、そういった方々にも、しっかりと必要最小限の情報については合理的配慮がないと、やはり様々な不安を覚えるのではないのでしょうか。これらはデザインや発信物に関係してくる課題ばかりだと思います。この人口の半分以上が情報のバリアフリーを潜在的に求めている。ここに我々のチャンスがあるということです。

そしてもう1点。障害を持つ方の社会参加に向け、障害者雇用の義務化の話です。これは、もう当然ご存知かと思いますが、だんだんこの規制が厳しくなり、従業員を43.5人以上雇用している事業主は、障害者を1人以上雇用しなければなりません。来年4月には障害者の雇用率が、従来2.3%だったものが2.5%になります。そして今までは43.5人以上の会社が対象になっていたものが、来年4月からは、40人以上の会社が対象になります。そして令和8年からは37.5人以上の会社は、2.7%以上の障害者を雇用しなさい。令和10年からは3%になるのではないかと、言われています。

従来にもまして労働基準局の対応も厳しくなり、企業も積極的にこの数字を達成しなければならなくなってきたということです。我々のお客様の会社の中でもこういう方々が増えているということです。これ自治体によっては、この障害者雇用の達成によって、官公需の入札の加点にもなるというような制度を設けているところもありますから、そういう流れは加速していくということです。

【持続可能な世界の目標 SDGsの取り組みの拡大】

そして3つ目のファクター、SDGsです。昨今、もう多くの企業が取り組んでおられ、2030年の目標達成に向けて、官民間問わず、このSDGsへの取り組みが加速している中で、中間点にあたる2025年には、関西大阪万博があり、世界的にも我が国の取り組みが、注目を集めることになると思います。そんな中でこのMUDメディアユニバーサルデザインの考え方は、このSDGsと大変親和性が高いです。MUDに取り組むことによって、自動的に6項目(3.全ての人に健康と福祉を 4.質の高い教育をみんなに 5.ジェンダー平等を実現しよう 10.人や国の不平等をなくそう 11.住み続けられるまちづくりを 12.つくる責任つかう責任)は達成できると言えるのではないのでしょうか。SDGsの肝は多様性ということです。多様性、つまり不平等もなくすということです。私たちのお客様もSDGsに取り組んでいますし、ここにもビジネスチャンスはあります。

【事例】

和歌山県がある入札案件において、MUDの資格者がデザインを行うことが、その条件になっています。

また、福島県や愛知県も各自自治体で作る印刷物に、どのように情報を正しくわかりやすく伝えるかということで、県単位でこのガイドライン作っています。これらも実は、我々の仲間である印刷会社が、県と一緒にやってこういうガイドラインを作りました。その和歌山県がビジネスの現場でMUDを特に提案営業を実践して受注に繋げるために、南海トラフ地震のリスクがあるので、電柱に海拔を示す標識を、MUDに取り入れた印刷会社が、測量系のコンサル会社と、特殊素材、特殊プリントメーカーとコラボレーションして、県に提案し採用されたものです。市内3,000か所に、この看板が設置されましたが、印刷会社だけで考えると、とてもできることが狭まってしまいますけれども、我々はこういったものをデザインするスキル、ノウハウがあります。それをこういうパートナーと組むことによって、今まで限られていたビジネスの幅が、もっと広がるのではありませんかということです。また、千葉県の事例ですが、ハザードマップには多くの情報を織り込もうとしますが、MUDに配慮し色や文字、形に配慮し、どこへ避難すればいいか明確に伝えることができるということです。必要な情報だけをクローズアップすることによって、お年寄りや、お子さんにも見えやすく理解しやすい。こういうノウハウを蓄えるということも我々は長年の経験から十分対応できるのではないかと、思っています。

そして、「学びを支える視点」ということで、「もっと学びやすい教科書へ」ということで、啓林館という教科書出版会社が、MUDの考えのもとに作られまして、認証の取得をされました。4月から全国の学校で新しいMUDに基づいた教科書が使われるということになります。文部科学省のこの教科書作成の仕様書に、MUDがすでに明記をされています。ある大学の研究では、ユニバーサルフォントを使った教科書の方が、学習効果が上がるということが実証されているということで、MUDのデザインが当たり前と考える人たちがどんどん多くなっていくということです。

【勉強の仕方は？】

勉強は、このMUD協会が提供するツールやサービスを一つ話しますが、まずは全印工連が作ったメディアユニバーサルデザインの考え方のテキストです。理念編・実例編・資料編になっています。いろいろお客様にお話をするのに、やはりしっかりと知識のバックボーンがないと、すぐ見透かされてしまいますので、まずはしっかりとこのテキストを使って学んでいただ



きたい。このテキストをぜひ全印工連に申し込みいただければと思います。

そして、理念編の後には、「MUD 協会の支援メニュー」ですが、MUD 検定です。従来は教育検定の3級でしたが、最近は MUD アドバイザー検定になっております。そして従来2級だったものが、今ディレクター検定と言います。アドバイザー検定は、もうすでにこれまで5,000名を超える方々が受験をし、ディレクターも含めると7,000名以上の方が受験頂いております。コロナということも背景にありまして、2021年からはウェブ受験が可能になりましたので、ぜひこちらもご検討いただきたいと思います。

MUD 協会は、世の中の流れもありまして、最初は印刷業界向けにこの検定を始めましたが、今やこのアドバイザー検定が我々印刷会社はもとより、デザイナーさんとか、官公庁や企業の方々、あるいはデザインを学ぶ学生さん、こういった方々のほうが、より多くの申し込みをいただいているという現状があります。皆さんもこの考えを早くやっぱり取り入れていただかないと、お客さんの方が先に行ってしまうというような状況にもなりかねませんので、ぜひ検定をお受けいただきたいと思います。うちは大して大きい会社ではありませんが、製作社員だけでなく、営業の社員にも受けさせて、少なくとも MUD の内容を、全社的に理解しているというような状況ができています。

そして、Office10に対応した、一般ユーザー向けセミナー、「Office 文書のユニバーサルデザイン講座」を行っています。一番最近の Windows Office10 ですと、MUD フォントが初めからバンドにされています。ですから役所の方や企業の方が、どうやってその最初からバンドにされているフォントを使って、見やすい社内文書、あるいは役所の文書を作るかという視点でのセミナーも行っていますので、こういうものがあるということ、ぜひ営業トークで使えると思います。ご参考にしていただきたいと思います。

このように MUD を申し上げてきました。キーワードは「地道な繰り返し」ということで、理念は時間がかかります。まず最良のプロセスは、皆さんの会社の従業員、それぞれ社長さんも含めて、MUD の基本的なスキル考え方を身に付ける。そしてしっかりと知識をバックボーンにし、背景を語る引き出しを作る。日々

の営業トークの中で、こういう MUD の話を織り込んでもらうということです。そして製作物で MUD の配慮を心がけてお客様に有効性を実感する。お客様に頼まれてからじゃなくて、「いや、ちょっとこのように工夫してみました」。そういうことでもお客様のご理解は深まると思います。なかなかお腹いっぱいのところ、ステーキ出されても食べられません。ですから、「MUD どうですか」と言って、すぐにそれに食いついてくるお客さんは少ないですけども、日々こういうことお客様との繰り返しの中で MUD の話を続けていけば、「そういえば、あの印刷会社こんなこと言ってたな」と引かかってくることもあると思います。

それには時間がかかります。時間がかかりますけれども、地道に取り組んでいくことが必要ではないかと思えます。申したとおり、価格競争ではなくて、印刷会社らしい、納期や金額の競争ではない印刷会社らしく、ということで、自社のブランディングになる MUD をぜひ活用いただきたい。お客さんに喜んでいただきファンを増やしていただく、そういうツールになるものです。

「近江商人の三方よし」は、皆さんご存知だと思いますが、「売り手よし、買い手よし、そして世間よし」。まさに MUD はこの三方よしと、全く一致する考え方でありまして、言ってみれば、誰も文句のつけない取り組みだと思います。これからますます社会に求められる取り組みだと思いますので、全印工連は従来から展開している MUD、ぜひ多くの皆さんに、より多く関心を持って取り組んでいただければ幸いです。私から今日の話は以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。





Color & Comfort

**変化する市場ニーズを
多彩な技術でナビゲートする**

DIC グラフィックス株式会社
ディーアイシー
中国支店

〒738-0021 広島県廿日市市木材港北10-36
TEL:0829-31-2111
<https://www.dic-graphics.co.jp/>

世界に広がる **kingyo** のネットワーク



ゴムロール・ゴムブランケット
ゴムのことならおまかせ下さい!

○営業拠点
■製造拠点
▲研究所

株式会社金陽社広島営業所
〒725-0002 広島県竹原市西野町1561-1
☎0846-29-1011 FAX0846-29-1229

9月は「印刷の月」、今年もメモ帳をお配りします！

コロナウイルス拡大に伴う人との接触を防ぎ、街頭アピールは止めます

今年の「印刷の月」も組合員の皆さま等にメモ帳をお配りします。但し、使用方法は各支部にお任せしますので、病院、福祉施設、その他の施設あるいは近隣、営業先など、「印刷の月」アピール活動として使用してください。

印刷産業への認識を深めていただくとともに、地域に根ざした生活・文化に密着する情報伝達メディア、印刷業界のアピールを行うのが目的なので、忘れずに一言添えてください。お願いします。

「第17回 メディア・ユニバーサルコンペティション」募集

MUD活動に参加・チャレンジしよう！（4ページからの「ビジネスに活かすMUD」を参考に）

全日本印刷工業組合連合会では「すべての人にやさしく、誰もが快適に利用できること」を目的としてデザインや文字など、より多くの人に伝わる情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン (MUD) 活動」に取り組んでいます。この取り組みをより強固なものとするために、今年も「第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催し、高齢者・障がい者や子ども、外国人になどに対して見やすさ・伝わりやすさに配慮したアイデアに富んだ作品を募集します。

隣県では、以前から取り組んでおられ優秀な成績を収められています。当工組からも以前には表彰を受けられた会社もあり、このMUDを世間に広げアピールするために、ぜひチャレンジされることを願っています。

《 応募要領 》

応募期間：2023年9月1日(金)～12月7日(木)
(当日消印有効)

募集作品：高齢者・障がい者や子ども、外国人など
に対して、見やすさ・伝わりやすさに配慮したデザイン手法を用いて制作されたもの
(例)：カレンダー・地図・パンフレット・サイン・パッケージ・チラシ・ポスター・その他など

応募対象作品：2021年7月以降に制作されたもの。

募集部門：① グラフィックテクニック (DTP)
文字、組版、図表、イラスト、色使いを工夫した作品
② 商品企画
種別、分野は自由でMUDを活用したオリジナル作品
③ 製本、加工技術
折、製本、形態など後加工で使いやすさに工夫をした作品

応募資格：一般の部：プロ・アマは問わず、どなたでもOK。

学生の部：大学・短期大学・専門学校・高等学校に在籍している学生・生徒。

出品料：作品1点につき、一般3,000円、学生無料、2023年12月7日までにお振込願います。

お問合せ先：〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館4F
全日本印刷工業組合連合会

TEL. 03-3552-4571

FAX. 03-3552-7727

応募先：〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11
公益社団法人 日本印刷技術協会内
「第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」係

TEL. 03-3384-3111

FAX. 03-3384-3481

印刷の新たな未来を、
ともに切り拓く。

変わりゆく印刷産業に
新しい価値・サービスをともに創る
最も身近で信頼される。そしてお客様の未来に
貢献できるパートナーとして
これからも歩んでまいります。

合同印刷機材株式会社
〒733-0833
広島県広島市西区船場センター4丁目13-3
TEL 082-277-8822 FAX 082-277-8828
営業所：広島・岡山・宇野・福山・山口・徳島・松山・大塚



SAKATA INX...

広がっています、ボタニカルインキ

環境に配慮した
パッケージとして
アピール!

CO₂排出量
削減に貢献!

既に多くの
包装に採用
されています!

詳しくは当社ホームページのボタニカルインキ特設ページをご覧ください。

サカタインクス株式会社 中四国支社 広島オフィス
〒730-0826 広島市中区南吉島2-3-57 TEL 082-248-0300




福山支部 8 月例会

2023 年 8 月 23 日 (水)、福山支部価値組委員会の 8 月 (第 235 回) 例会を開催しました。もう恒例になりつつあります各社の取組み・事例発表、今回が 16 回目になりました。毎月開催の例会で、他のテーマで開催することもありますので、約 2 年、継続してる取組みです。16 回目の今回は富士フィルムグラフィックソリューションズ (株) の岡田さんの話を聴かせて頂きました。

岡田さん、「フォークリフトの安全技術の取組みについて」というテーマで話してくださいました。ちょっと意外なテーマ。実は岡田さん、この業界に来られる前に

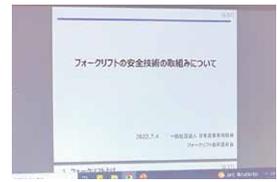


物流関係のお仕事をされていたとのこと。フォークリフトにもバリバリ乗っていたし、管理もされていた。フォークリフトって、主に 2 種類。

座って運転するタイプと、立って操作するタイプがありますが、どちらかのタイプのフォークリフトが皆さんの会社にもあると思います。

毎日使うフォークリフト、自動車と同じく安全に運転

しないと事故につながる。10 年以上物流のお仕事をされていた岡田さんから、安全に操作をする基本、起こしやすい事故のパターン、それを防ぐためのどうすればよいか。といったお話をとても分かりやすく話してくださいました。ヒヤリハット、ハインリッヒの法則って自分の身近なところでも起きている。でもそれに気が付いていないかもしれない。今一度原点に戻って、基本・基礎を大切にしないとなあと感じさせられました。自社・社員さんの安全と仕合せのために、気づかせてくれて、本当にありがとうございました。



こうやってメンバーさんたちのお話を伺い、それぞれの得意分野を共有していくことが、地域の DX の繋がりになっていくのではないかな、と考えています。皆さんが集まれる場を創って、共有することで、刺激やヒントをお互いに情報交換しながら、自社の仕事のヒントやモチベーションアップに。そして自社の強みに気づくことに繋がればと思っています。今回もありがとうございました。

事務局だより

◎ 組合のうごき

8 月	3日	夢メッセ三役会議	印刷会館
	10日	CSR推進委員会	東京
	17日	経営革新マーケティング委員会	東京
	19日	全青協正副議長会	札幌
	21日 29日	広島大会、各部会打合わせ	印刷会館
	30日	常任理事会・支部長会・拡大理事会・全国大会全印工連と打合せ・報道機関座談会	印刷会館

9 月	1日	環境労務委員会	岩手
	4日	常任役員会	web会議
	5日	広島大会、総務部会打合わせ	印刷会館
	20日	夢メッセ・支部長会	印刷会館
	27日	産業戦略デザイン室	東京

計 報

㈫ハラダ印刷 会長 原田 貞介様 (享年 84 歳) が令和 5 年 8 月 3 日 永眠されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

竹末洋紙株式会社

良い紙に夢を加えて

洋紙一般・ファンシーペーパー・板紙・封筒
アテナ製紙・イムラ封筒代理店

本 社 〒733-0833 広島市西区商工センター 6 丁目 5-9 TEL (082) 277-4433・FAX (082) 278-2070
e-mail: takesue4433@urban.jp
千代田倉庫 〒731-1531 広島県山県郡北広島町川井字岡田 TEL・FAX (0826) 72-6626